鹿野 城下町と里山コース（全長9.0km）

1 鹿野往来

鳥取から吉岡・洞谷を経て鹿野に至る道。鹿野城主亀井氏統治時代は山中石畳道であった。近年、吉岡・鹿野間で鹿野往来マラソン大会が開催されている。

2 幸盛寺

亀井茲矩の義理の父で、非業の死をとげた武将山中鹿介の菩提寺。茲矩が鹿介の菩提を弔うために建立した。境内には大イチョウ（高さ34m）がある。

3 地蔵小路

城下町から外れて、細い路地を抜けると、子供を守り、霊験あらたかな地蔵様がある。昭和初期ごろまでは盆後の十六日には小路脇に提灯を灯して賑わった。

4 コスモスロード

地蔵小路を抜けると現れるコスモス畑。花が咲く時期になると、畑の中に簀子が敷かれ、360°コスモスに囲まれながら歩くことができる。

5 庚申堂

後醍醐天皇勅願と云われる寺院跡。庚申信仰とは、人の体に棲む三尸虫がその者の悪行を天帝に告げるので、日頃の行いに気をつけようというもの。

6 牛つなぎ石

藩政時代に設置されたもので、商人が荷物を積み下ろしするときに牛を繋いでおくために使用された。鹿野城下町のメイン通りに複数残っている。

7 すもうとり塚

力士の出身村が、その力に肖り、厄除けとして村境に建立した。ここの塚に刻まれている二ツ龍庄八は、頭突きに威力を発揮した大阪相撲の大関である。

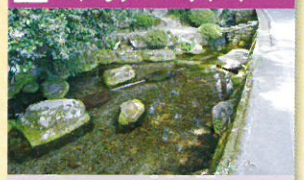
8 玉川神社

この辺りを通称玉川という。毎年の祭礼には子供たちにより榊・神輿を練り歩く。傍らの巨木には悪い子を吊し上げる「ふごおろし」が潜んでいたといわれる。

9 馬の池

古絵図には「駒場」と表示してあり、昔は馬の放牧場であったともいわれる。この辺りに人を化かすのが好きな源四郎狐が棲み、悪さをしでかしたという。

10 布勢の清水

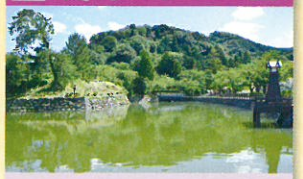


布勢平神社境内の巨岩の下から湧き出る清冷な清水。鹿野城主亀井茲矩が、「その清冷さ氷のごとき」と称賛し、傍らに涼亭を設けた。環境省選定の平成の名水100選の1つ。

11 川柳街道

川柳大会で鹿野町民が2部門で日本一になり、「川柳のまち鹿野」が誕生。鹿野小学校前の道路に、優秀な成績を収めた句を、木や石に記して設置している。

12 鹿野城跡公園



今もなお昔の面影を残す亀井茲矩公の城跡。鯉や白鳥・かもが泳ぎ、憩いの場になっている。春は約500本のソメイヨシノが咲き誇る花見の名所として有名。